

平成22年度 学校経営計画及び自己評価計画書

1 教育目標

地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成

- ・人を尊び、自らも健全にたくましく生きる
- ・人を慈しみ、自らも技術の向上を図る
- ・人を愛し、自らも豊かな感受性を持つ

石川県立田鶴浜高等学校

学校長 南 龍 保

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒は看護・福祉の道へ、高い志を持って入学してくるが、3年間または5年間その意欲を持続することが困難な場面もある。
- ② 自ら学ぶ姿勢が生徒に浸透し、専門知識・技術習得に求められる基礎学力が定着してきた。
- ③ 看護・福祉に要求される基礎体力及び基本的な生活習慣は概ね確立されているが、より一層の充実を図る必要がある。
- ④ 健康福祉科への志願者は減少傾向にあったが、近年、学校理解、生徒募集等の取組により志願者の確保が図られつつある。
- ⑤ 地元への関心の高まりと支援体制の充実により、地域の医療機関、施設への就職者が増加している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 基礎学力の充実を図りながら、看護師・介護福祉士に必要な専門知識・技術の習得に努め、正しい職業観を確立する。
- ② 看護師や介護福祉士の理念やモラルを身につけ、他者を尊重する「思いやりの心」を育てる。
- ③ 基礎的体力と強く自らを律する精神力を養い、他者と協調・連携し、共に逞しく生きる心を培う。
- ④ 地域の歴史・伝統・文化についての学び、ふるさとを愛する心を育てることで、地域の医療・福祉に貢献する意識を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員として使命と熱意を持って生徒に関わり、保護者・地域・実習先と連携し、信頼関係を構築する。
- ② 全教職員が学校運営への参画意識を持ち、目標管理に基づく教育活動を展開することにより、学校の教育力を高める。
- ③ 学校の説明責任を積極的に果たし、生徒・保護者及び地域のニーズに応える、特色ある学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 高い倫理観に裏付けられ、わかる授業を意図的・計画的に展開できるよう、教師の資質向上に努める。
- ② 一人一人の学力を十二分に引き出す教科指導により、看護師・介護福祉士国家試験合格率100%を目指す。
- ③ 地域の医療・福祉機関を支える看護師・介護福祉士の役割の大きさの啓発に努め、本校志願者の増加を図る。
- ④ 特色ある部活動を創設することで生徒の課外活動の活性化を図り、看護や福祉の道を進む生徒にふさわしい心身の調和的な発達を図る。
- ⑤ 授業・実習を通じた教師・指導者との対話により、思考力・活用力を鍛え、携帯電話を必要としないコミュニケーション能力を育成する。
- ⑥ 基本的な生活指導を徹底することにより看護や福祉の道を目指す生徒として、強く自らを律し、人間としての在り方生き方に目覚めさせる。